

事務事業評価資料

施策名	生物多様性の保全の推進		所管部局課名	農政環境部環境創造局自然環境課						
事業名	特定外来生物被害対策事業		担当者電話番号	野生鳥獣係 4115						
事業目的	アライグマ、ヌートリアの迅速かつ効果的な捕獲を進め、分布域拡大の防止を図る 農林業・生活環境被害の低減を図る									
事業内容	市町が行うアライグマ・ヌートリアの捕獲及び安楽死処分の支援 対象者：市町 補助対象経費：アライグマ・ヌートリアの捕獲及び安楽死処分に要する経費（補助率：県1/2以内） 事業主体：市町			事業開始年度	平成18年度					
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額				
	事業費	(9,444千円) 9,444千円		(12,000千円) 12,000千円		(18,000千円) 18,000千円				
	人件費	15,248千円	従事人員 1.8人	15,048千円	従事人員 1.8人	14,767千円 従事人員 1.8人				
	総コスト (+)	24,692千円	従事人員 1.8人	27,048千円	従事人員 1.8人	32,767千円 従事人員 1.8人				
事業の目標	年間捕獲数の拡大			[目標設定理由]農業被害の防止を図るため、年度ごとに設定 H20：アライグマ1,600頭、ヌートリア800頭 H21：アライグマ3,200頭、ヌートリア800頭 H22～：アライグマ4,800頭、ヌートリア1,200頭						
	農業被害面積の減少			[目標設定理由]農業被害の防止を図るため						
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H20	H21	H22	
	年間捕獲頭数	2,400頭/年 4,000頭/年 6,000頭/年	H20 H21 H22	3,594頭 (7千円)	4,061頭 (7千円)	6,000頭 (5千円)	149.8%	101.5%	100.0%	
アライグマ被害予測面積と被害実績面積の差(ha)			15.00 (1,646千円)	24.00 (1,127千円)	33.00 (993千円)					
評価結果	必要性	・急速に分布を拡大し、深刻な被害を及ぼしているアライグマ、ヌートリアの地域からの排除を実現するために必要である。								
	有効性	・市町による捕獲・安楽死処分の経費支援を行うことにより迅速なアライグマ・ヌートリアの防除が進んでいる。								
	効率性	・被害の増加が予測されるところ、市町への被害通報体制の整備等の積極的な生息情報の収集によって、捕獲にかかる作業コストを低減させた上で、被害を抑制できている。								
	民間・市町との役割分担	・県：「アライグマ防除指針」の策定、捕獲・安楽死処分の技術的支援 ・市町：事業主体（県補助率：1/2以内）								
	受益と負担の適正化	・本事業により、被害の抑制が図られるが、追加的利益を生じさせるわけではないため、県及び市町負担で実施する。								
方向性	新規	(拡充)			継続	実施手法の見直し				
	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定				
実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他			
実施方針説明	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県においてアライグマ・ヌートリアは近年急速に増加しているが、現段階で科学的データの蓄積が少ないことから、捕獲による個体数減少効果については不明である。 ・また、各市町で外来生物法に基づく被害防止計画を策定する市町も増えており、アライグマ・ヌートリアの捕獲頭数が急速に増加していることから、今後とも捕獲対策の強化を図る必要がある。 ・捕獲目標：(H21)4,000頭 (H22)6,000頭 									